



徳成寺 寺ともかわら片版 第178号2021年10月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

先が見通せない時代にあって、どうしたら絶望せずに

いられるかと言えば、「信じるに足るだけの人に出会って

いるかどうか」です。幾多の苦難を乗り越え風雪に耐えた

人の背中が私に勇気を与えてくれるのでしょうか。かつてサッカー

女子ワールドカップで優勝した「なでしこジャパン」キャプテンの

澤 穂希選手は、「苦しくなったら、私の背中を見なさい」と言って、

チームメイトを鼓舞したそうです。実に頼もしいです。「信じるに足るだけの人」

と言えば、親鸞聖人は正信偈にお釈迦様と七人の人々を取り上げて下さいます。

どんな世の中だろうと、ただただこれらの人たちの心に出会って行きなさい。

それが親鸞聖人全身全霊を込めたメッセージです。そのメッセージを謹んで

頂く時が来ています。

発行責任者
住職
大山 健児
坊守
大山 なとみ



大山超世の耳を澄ませば

お世話になっています、副住職です。

お彼岸でお世話になったご門徒の皆様、ありがとうございました。今年は連休が重なったことからお子さんがお参りしてくれたご家庭が多く、大変ありがたいと感じました。今時は、プログラミングを小学生から学ぶという話を耳にします。チビ子達に聞いてみると、ちらほらと手が拳がり、場合によってはその他の教科もタブレットで取り扱うという事を教えてもらいました。

一方、普段の過ごし方を聞いてみると、鬼ごっこ、ドッジボール等の外遊びを楽しんだり、宿題のドリルに手こずっていたり、私の小さい頃と変わらない部分もあり、オンライン法要に取り組む現在のお寺と重なる部分を感じました。写真は先月のオンラインセミナーのリハーサルの様子です。時代が移ろい手段は増えましたが、人や思いを繋ぎたい、幸せにしたいと言う願いはどれも同じです。本質を大事にしていきたいと改めて思いました。

